

「富富富」の生育状況と当面の技術対策について

令和2年6月16日

農業技術課 広域普及指導センター

1 生育状況（実証ほデータ）

近年に比べて、草丈は長く、茎数はかなり多く、葉色はやや濃く、葉齢は進んでいる。
葉齢を揃えて比較すると、草丈、茎数は近年並み、葉色は濃くなっている。

表1 「富富富」の生育状況（6月16日 栽培実証ほ）

年次または 試験内容	ほ場数 (筆)	田植日 (月/日)	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (L)	葉色	
				(本/株)	(本/m ²)		葉色板	SPAD
R2	12	5/15	36.2	22.3	488	9.2	4.7	43.8
R元	12	5/13	34.1	21.6	463	8.8	4.5	42.8
近年		5/14	31.9	19.0	407	8.5	4.5	42.0
前年比・差		2	106	103	105	0.4	0.2	1.0
近年比・差		1	114	117	120	0.7	0.2	1.8
早期田植栽培・早植区	4	4/30	44.7	29.5	598	10.8	4.4	41.1
高品質安定栽培・試験区	4	5/15	35.7	22.2	488	9.1	4.7	44.1

注) R2: 生育観測ほ、早期田植栽培・対照区、高品質安定栽培・対照区(合計12ほ場)の平均

R元: 実証ほ12か所の平均、近年: H29~R元の平均

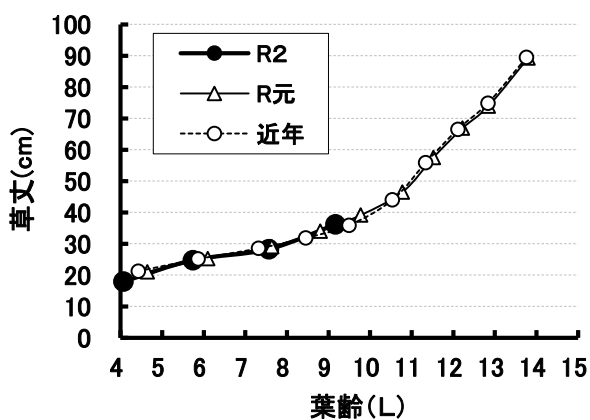


図1 草丈の推移（富富富実証ほ）

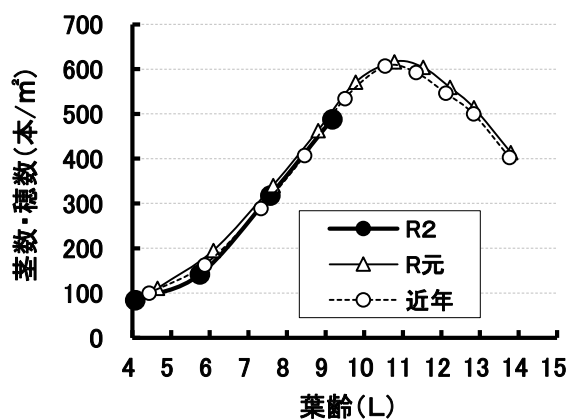


図2 茎数の推移（富富富実証ほ）

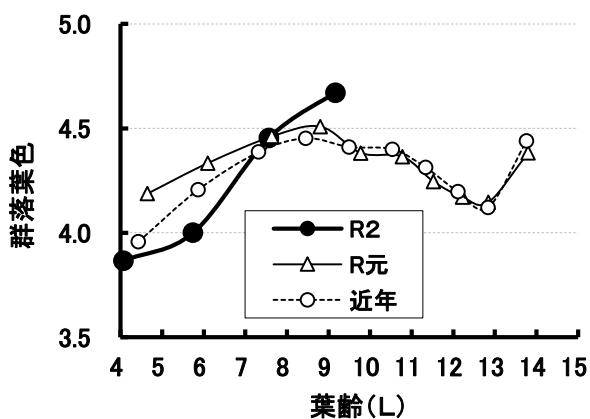


図3 葉色の推移（富富富実証ほ）

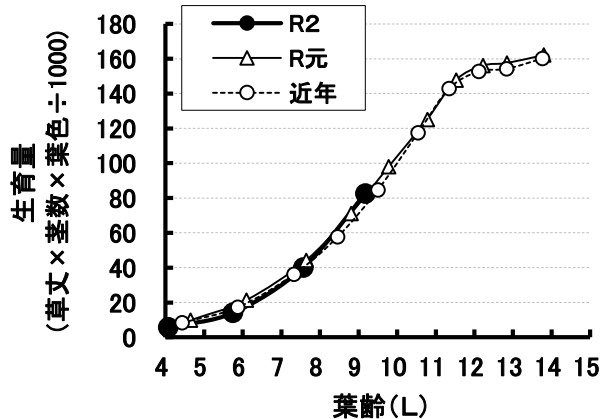


図4 生育量の推移（富富富実証ほ）

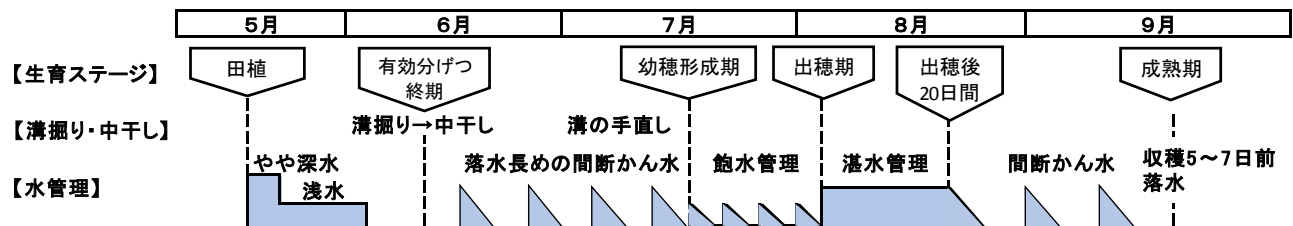
2 当面の技術対策

- ・ 葉齢展開が早く、葉色が濃く推移していることから、幼穂形成期までは落水期間が長めの間断かん水を行い、幼穂形成期頃までに足跡の深さ 3 cm 程度の土壌硬度に誘導する。

(1) 水管理

- ・ まだ中干しを実施していない場合は、早急に中干しを開始する。
- ・ 葉齢展開が早く、葉色が濃く推移していることから、中干し後は幼穂形成期まで落水期間が長めの間断かん水を行い、幼穂形成期頃までに足跡の深さ 3 cm 程度の土壌硬度に誘導する。また、籾数の適正化のため、幼穂形成期の SPAD 値 35（群落葉色 4.0 程度）に誘導する。
- ・ 幼穂形成期から出穂期までは、飽水管理を行う。

<水管理のイメージ>



R2 年は近年よりも葉色が濃く推移しているため、中干し後は幼穂形成期まで、落水期間が長めの間断かん水を実施。

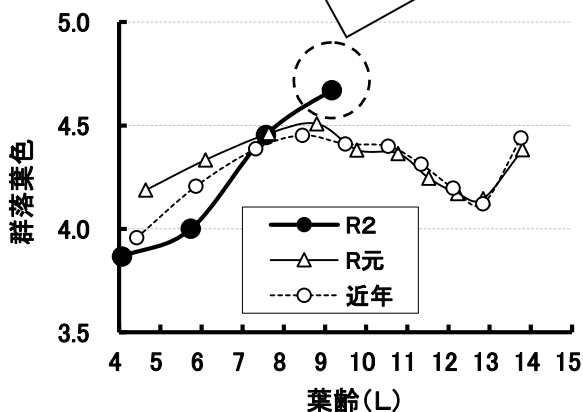


図5 葉色の推移（富富富実証ほ）

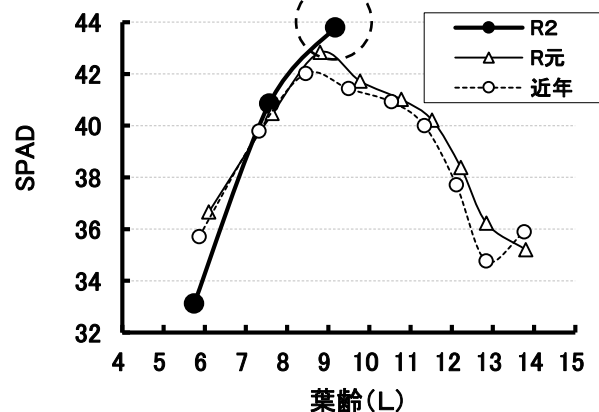


図6 SPADの推移（富富富実証ほ）

(2) その他の管理

病虫害および雑草防除は、コシヒカリに準じて実施する。ただし、生育期間を通しての化学合成農薬の成分使用回数が 12 以内となるように留意する。